



奨学金ありがとうございます  
 実習で教壇に立つアルマ。家庭の事情で中断した教師になる夢は、元FOTの皆さんのご支援でまもなく成就します！



NPO 法人ビラーンの医療と自立を支える会  
 (英文名略称・HANDS)  
 本部：〒227-0033 横浜市青葉区鴨志田町 516-11  
 TEL & FAX: 045-500-9151  
 E-mail: hands-mindanao@nifty.com  
<http://hands-mindanao.a.la9.jp/>  
 郵便振替口座 00210-5-72693  
 (上記口座は4/3に解約しました)



## 長期に渡るご協力ありがとうございました！

### — 感謝と臨時社員総会のご報告 —

会員及び市民の皆様、長い間のご支援ありがとうございました！中には1996年7月の当団体「ビラーンの医療と自立を支える会/HANDS」設立当初から28年間、また、HANDSが2002年に少数民族里親の会/FOTを、さらに、2013年にはチボリ国際里親の会/JOFPA(1980年設立)の活動を引き継いだことで、故藤原輝男氏によるJOFFA設立の1980年以降、最長43年という長期ご支援の会員もいらっしゃいます。

改めてこのフィリピン・ミンダナオ島先住民族に対する各種支援事業への長年のご協力に対して深く感謝申し上げます。

このように長期に渡り、チボリ、ビラーン、マノボ等アニズム系先住民族の支援、また、2002年以降は、ナプサさんを代表とする医療チームPIHSをパートナーとしたイスラム系モロ民族も含めた各種支援事業実施にご協力いただいたことで、季刊の会報「ビラーン通信」各号でご報告のように、命を守る医療衛生分野の活動、また、人を育てる教育支援、持続可能な収入向上のアグロフォレストリー

の実施、さらに、民族の伝統技能を生かした女性の収入向上の事業等において、それぞれ確かな実りを確認できるようになりました。

一方、残る課題に対応する上で必要な団体運営の世代交代に関しては、残念ながらその見通しがたたず、1月下旬にお届けの「ビラーン通信 116号」P4でご案内の臨時社員総会(3/19)において、4分の3以上の賛成(社員会員30名中23名が賛同)により、2023年度末(令和6年3月31日)をもって、NPO法人としての活動収束が承認されました。対面参加5名、書面評決の18名の社員会員の皆様、大変重要な議案審議にご参加いただきましてありがとうございました。

この臨時総会では法人解散に伴う諸手続きを担当いただく清算人を高山好主理事に委任する議案も承認いただき、すでに法務局への登記ほかの諸手続きが高山清算人により進められております。以上、感謝とともにご報告させていただきます。ありがとうございました！

元NPO 法人代表(事務局専従兼務) 山崎登美子

### — 今後について —

社員会員の皆様には臨時総会ご案内の折、報告事項として「学業途上の奨学生など継続支援が必要な場合、任意団体を通じて支援する」と書き添えましたが、このCMIP経由で支援の奨学生については、2月下旬に多額の奨学生用ご寄付をいただいたため、その他の寄付も併せて、CMIP奨学生の2024年度分奨学金を事前送金させていただきました。当面、学業途上の奨学生に対する支援が不要となり、一方、役員間でも新たに任意団体を創設したいという声がなかったため、皆様からの支援金受け入れも終了させていただくことになり、郵便振替口座含めた各種預金口座の解約を済ませました。

以上、諸事情ご了解いただきますようお願いいたします。なお、今後もP2でご報告の現地パートナー団体とはメール等により、従来の私たちの支援の成果を含めて、情報を入手の予定です。

引きつづき現地情報が必要な方には年2、3回A4で1枚程度のものをお届けできるかと思えます。元代表山崎登美子宛てにご連絡ください。